

## 話しことばの性差

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学人文科学研究所 公開日: 2013-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高崎, みどり メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/14555">http://hdl.handle.net/10291/14555</a>

## 話しことばの性差

高崎 みどり

Sex Differences in Japanese Conversation

TAKASAKI Midori

## 1. はじめに

本研究は、男女の話しことばに、言語的な差異があるかどうか、あるとすれば、どのようなところに差があるのか、という点に中心がある。

本年度はまず女性の話しことばの方に焦点をあてて、その特徴を把むことを目標とした。従来は、女性の話しことば研究の材料としては、家庭にいる主婦の一日の会話や、女子大学生の短い会話、また女子高校生の流行語や隠語を採取する目的の会話の資料などが使われていた。今回は、職場における女性の大量の自然談話の録音文字化資料を材料として分析を行なった。その結果を、『女ことば』を創りかえる女性の多様な言語行動』という論文にして、『言語』Vol.31（2002年2月）に発表したもので、以下その梗概を示すことにしたい。

## 2. 「女ことば」を創りかえる女性の多様な言語行動

## 2. 1. 「女ことば」の使用減少

まず、「女ことば」という概念を、女性はこんな言葉遣いをするものだ、というステレオタイプと、女性はこんなふう言葉を使うべきだ、という規制が結びついた概念であると考えた。前述の談話資料と、いくつかの先行研究の中から拾った「女ことば」の中味とをつき合わせた結果、依然として残存しているものもあるが、全体的に言う、「女ことば」の使用は減少していることが確認された。

## 2. 2. 多様な言語行動

職場での女性は、職務遂行時と休憩時で、丁寧な言葉やぞんざいな言葉を切り換えたり、職務の内容により、形式的な表現をしたり、説明表現をしたりして、  
「女ことば」の使用不使用にとどまらず、多様な言語使用実態を示していることも観察された。

## 2. 3. 更なる多様性へ

「女ことば」は、女性が職務遂行上、必要な言葉遣いを取捨選択する中で、次第に不使用の方向へ傾いていく。

また、女性が進出する職務の多様化、パートタイマー、派遣などの働き方の多様化、あるいは発言力のある女性やマスコミに登場する女性の言葉遣いの影響等もあって、更なる多様性を持っていくことが予想される。

一方、以上のような働きの中でも依然として残存する「女ことば」を減らすことが、即「男ことば」を獲得することにはならないこと、等も観察されている。

### 3. 男性の話しことばの観察と分析

上記を踏まえ、後半の研究期間は、職場における男性の話しことばを資料化して分析を行なう予定である。

また、女性と男性の双方について、働く場での言葉遣いを分析することは、依然として“男社会”である日本の企業でのジェンダーの問題を見すえることにもつながっていくことになろう。